

Record Display Form

[http://westhrs:8002/tm/gate.exe?f=TOC3&...JPAB,EPAB,DWPI&ESNAME=KWIC&TUTIAL\\_REC](http://westhrs:8002/tm/gate.exe?f=TOC3&...JPAB,EPAB,DWPI&ESNAME=KWIC&TUTIAL_REC)

Generate Collection

L3: Entry 64 of 73

File: JPAB

Nov 16, 1993

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05304569 A

TITLE: TRANSMISSION RESULT NOTIFYING SYSTEM FOR FACSIMILE COMMUNICATION

Application Date (1):19920403Abstract (2):

CONSTITUTION: A transmission information storage section 6 to store a terminal class, a number of a telephone set 8 being a notifying destination of the transmitted result, a transmitting number of sheets and a transmission starting time corresponding to a facsimile equipment terminal 9 accommodated in an exchange 3 on a caller side is provided to a storage device 7 of the exchange 3. The exchange 3 receives a prescribed specific number inputted from the caller at the time of facsimile communication and a central controller 5 identified the transmitted result notifying service and a transmission information storage section 6 stores a terminal class, a number of the telephone set 8, the transmitting number of sheets and the communication starting time received successively. After completion of facsimile transmission, the central controller 5 discriminates whether or not the communication required period of time is within a prescribed period of time based on the terminal class, the transmission sheet number and the communication starting time and informs the result to the telephone set 8.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-304569

(43)公開日 平成5年(1993)11月16日

(51)Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 11/00	3 0 3	8627-5K		
	3/42	Z		
H 0 4 N 1/00	1 0 4 A	7046-5C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-81310

(22)出願日 平成4年(1992)4月3日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 金丸 明宏

東京都港区芝五丁目7番1号日本電気株式  
会社内

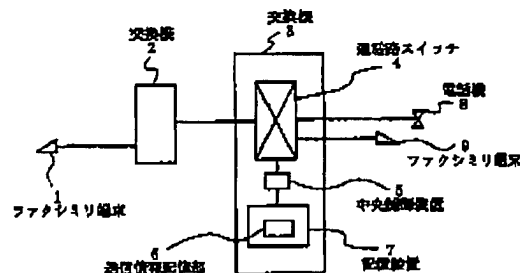
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 ファクシミリ通信の送信結果通知方式

(57)【要約】

【構成】発信側の交換機3に収容されるファクシミリ端末9に対応して、この端末種別、送信結果の通知先である電話機8の番号、送信枚数及び送信開始時刻を記憶するための送信情報記憶部6を交換機3の記憶装置7内に設ける。ファクシミリ通信時に発信者から操作入力される所定の特殊番号を受信し送信結果通知サービスであることを中央制御装置5によって識別し、引続き受信する端末種別、電話機8の番号、及び送信枚数を通信開始時刻とともに送信情報記憶部6に格納する。ファクシミリ送信完了後、これら端末種別、送信枚数及び通信開始時刻から通信所要時間が所定の範囲内であるか否かを中央制御装置5によって判別し、この結果を電話機8に通知する。

【効果】ファクシミリ端末自身の履歴機能で送信結果を確認する手間がなく自席で送信結果の確認ができる。



(2)

特開平5-304569

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 発信側の交換機に収容されるファクシミリ端末に対応して、この端末種別、送信結果の通知先、送信枚数及び送信開始時刻を記憶するための記憶部をこの発信側の交換機に設け、ファクシミリ通信時に発信者から操作入力される所定の特殊番号を受信し送信結果通知サービスであることを識別し、引続き受信する前記端末種別、送信結果の通知先及び送信枚数を通信開始時刻とともに前記記憶部に格納し、ファクシミリ送信完了後、これら端末種別、送信枚数及び通信開始時刻から通信所要時間が所定の範囲内であるかを判別し、この判別結果を前記通知先へ通知することを特徴とするファクシミリ通信の送信結果通知方式。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はファクシミリ通信に関し、特にファクシミリ通信の送信結果通知方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ファクシミリ通信の送信結果通知方式では、ファクシミリ端末のもつ送信履歴レポート機能により利用者に送信結果の通知を行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述した従来のファクシミリ通信の送信結果通知方式では、送信結果をファクシミリ端末のもつ送信履歴機能で確認をとるため、利用者が送信結果を知るためには、ファクシミリ端末を操作するか、若しくは、送信が完了するまでの間、利用者が、ファクシミリ端末を目視することで送信状態を確認しなければならなかった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のファクシミリ通信の送信結果通知方式は、発信側の交換機に収容されるファクシミリ端末に対応して、この端末種別、送信結果の通知先、送信枚数及び送信開始時刻を記憶するための記憶部をこの発信側の交換機に設け、ファクシミリ通信時に発信者から操作入力される所定の特殊番号を受信し送信結果通知サービスであることを識別し、引続き受信する前記端末種別、送信結果の通知先及び送信枚数を通信開始時刻とともに前記記憶部に格納し、ファクシミリ送信完了後、これら端末種別、送信枚数及び通信開始時刻から通信所要時間が所定の範囲内であるかを判別し、この判別結果を前記通知先へ通知する構成である。

【0005】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0006】 図1は本発明の一実施例を説明するための構内交換システムの構成図であり、交換機3に収容される電話機8の利用者がファクシミリ端末9から交換機3、2を介しファクシミリ端末1へ送信する場合の例が

2

示されている。交換機3は、電話機8、ファクシミリ端末9を収容し通話路を形成する通話路スイッチ4と、中央制御装置5と、送信結果を判定するためのデータを記憶する送信情報記憶部6を含む記憶装置7とを備える。

【0007】 図2は図1における送信情報記憶部6の構成を示す図であり、交換機3の収容位置情報に対応したファクシミリ端末番号と、ファクシミリ端末の送信速度を示すG3、G4等の端末種別と、送信の相手先である通信先と、送信枚数と、送信結果を通知する通知先である通信元と、結果通知サービスの実行可否と、通信開始時刻とを示す情報が中央制御装置5を介し格納される。

【0008】 以下に動作を説明する。利用者はファクシミリ端末9に原稿をセットし、ファクシミリ端末1にダイヤルする際、所定の特殊番号（特番）を回す。交換機3は、これを受信し送信結果通知サービスであることを識別し、引続きファクシミリ端末9から操作入力される端末種別、送信結果の通知先（この場合、自席の電話機8の電話番号）、及び送信枚数を通信開始時刻とともに中央制御装置5によって送信情報記憶部6に格納する。

【0009】 もし、送信結果通知サービスのための特番が受信されない場合には、送信情報記憶部6の結果通知有／無の情報エリアに通知不要であることを示すフラグ“0”を立てる。

【0010】 次に、ファクシミリ送信完了後、中央制御装置5は、送信情報記憶部6に格納されている端末種別、送信枚数から送信時間を演算し通信開始時刻と現在時刻とを比較し、通信所要時間が所定の範囲内に入っているかを判別する。正常と判定された場合には、指定されている通知先である電話機8へ結果を可視表示させる。また、一定時間内に通信が開始されない場合には、通信異常として検知し、電話機6へ異常の旨、可視表示させる。

【0011】

【発明の効果】 以上説明したように本発明は、発信側の交換機に収容されるファクシミリ端末に対応して、ファクシミリ通信時にこの端末の種別、送信結果の通知先及び送信枚数を通信開始時刻とともにこの交換機の記憶部に格納し、ファクシミリ送信完了後、これら端末種別、送信枚数及び通信開始時刻から通信所要時間が所定の範囲内であるかを判別し、この結果を指定の通知先へ通知するように構成したので、ファクシミリ端末自身の履歴機能で送信結果を確認するような手間がなく、送信が完了するまで目視しなくても自席で送信結果の確認ができるという効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例を説明するための構内交換システムの構成図である。

【図2】 図1における送信情報記憶部の構成を示す図である。

## 【符号の説明】

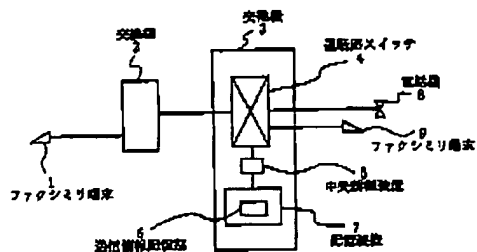
(3)

特開平5-304569

- 3  
1, 9 ファクシミリ端末  
2, 3 交換機  
4 通話路スイッチ  
5 中央制御装置

- 4  
6 送信情報記憶部  
7 記憶装置  
8 電話機

【図1】



【図2】

ファクシミリ 端末番号	通話時間	通話料	通話料金	通話元	通話先	通話時刻